

3 生活

(1) 火災発生状況

令和6年の管内火災件数は66件、死傷者数は10人であり、昨年より火災件数は減少したが、焼損面積は増加した。また、四季別では春季(3~5)月の発生が多かった。原因別にみると「放火・放火の疑い」によるものが多かった。

【表7】管内市町別 火災発生状況(令和6年)

市町・地域	火災件数			焼損面積		り災世帯 (世帯)	死傷者数 (人)	
	(件)	うち建物	うち林野	うちその他	建物(m ²)			林野(a)
鶴岡市	28	21	0	7	993	0	10	1
酒田市	31	21	1	9	2,613	20	17	7
三川町	2	2	0	0	353	0	3	0
庄内町	2	1	0	1	83	0	1	1
遊佐町	3	3	0	0	319	0	2	1
庄内計	66	48	1	17	4,361	20	33	10
対前年	86%	100%	50%	77%	134%	154%	106%	63%
令和5年	77	48	2	22	3,245	13	31	16

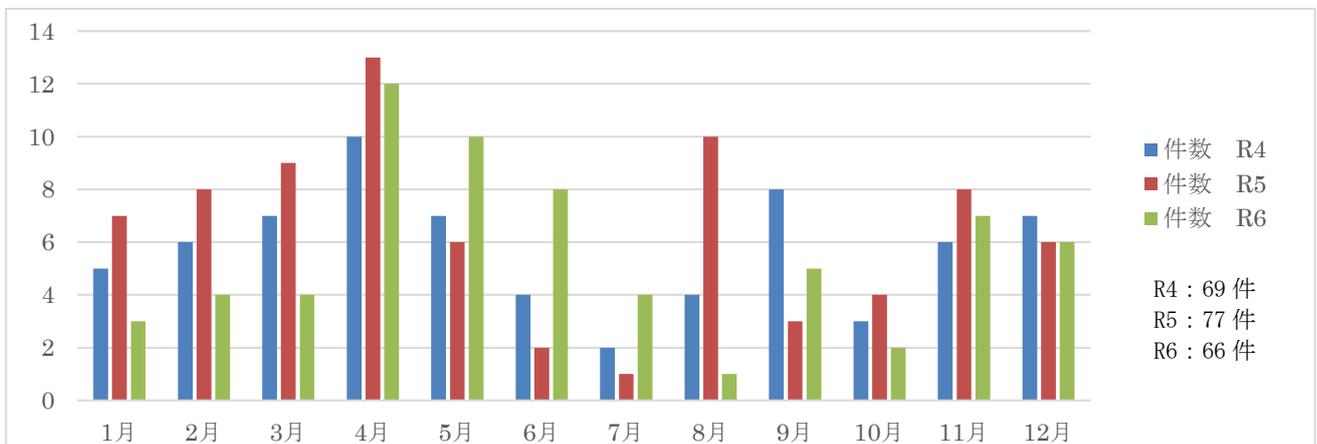
資料：管内消防機関の火災統計より作成

【表8】管内原因別 火災件数

	1位	2位	3位	4位	5位
令和6年	放火・放火の疑い <12件>	たき火 <6件>	電灯・電話等の配線 <5件>	ストーブ <3件>	煙突・煙道 <2件>
令和5年	たき火 <9件>	こんろ <6件>	放火の疑い、 たばこ <各5件>	電灯電話等の配線 <3件>	マッチ・ライター、 ストーブ <各2件>
令和4年	ストーブ <9件>	こんろ、電灯・電話 等の配線、たき火 <各5件>	放火 <3件>	灯火(ろうそく)、 たばこ、配線器具 <各2件>	溶接機・溶断機、 電気装置、取灰、 電気機器、放火の疑い <各1件>

資料：管内消防機関の火災統計より作成

【図3】過去3年間の月別火災件数



(2) 自然災害発生状況

令和6年の自然災害による被害は、人的被害5人、住家被害1,155棟、被害額は500億円超となっており、そのほとんどは7月25日からの大雨災害による被害となっている。

【表9】自然災害年報速報

区 分		令和4年	令和5年	令和6年		
人的被害	死 者 人	3	0	1		
	重 傷 人	12	1	3		
	軽 傷 人	6	1	1		
計		21	2	5		
住 家	全 壊	棟	3	0	13	
		世帯	3	0	13	
	半 壊	棟	1	1	353	
		世帯	1	1	353	
	一 部 損 壊	棟	3	0	0	
		世帯	3	0	0	
	床 上 浸 水	棟	0	0	61	
		世帯	0	0	61	
	床 下 浸 水	棟	0	0	728	
		世帯	0	0	728	
	計		棟	7	1	1,155
			世帯	7	1	1,155

資料：災害年報（管内市町、防災くらし安心部防災危機管理課）※R6年分は調査中の数を含む

【表10】主な被害額

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設被害（公共土木）	千円	173,117	0	34,300,000
農林水産被害（施設被害含む）	千円	128,959	166,505	17,369,267
※被害額は未確定を含む。		302,076	166,505	51,669,267

資料：農林水産関係被害：庄内総合支庁産業経済部
公共土木被害：同総合支庁建設部

【参考】 各年度の主な災害

令和4年度……令和4年8月3日からの大雨、鶴岡市西目地内の土砂崩れ災害

令和5年度……能登半島地震、飛島大雪

令和6年度……令和6年7月25日からの大雨

(3) 交通事故発生状況

令和6年の県内の交通事故発生件数、死者数及び負傷者数は前年と比較して減少したが、死者数24人（前年比10人減）のうち高齢者（65歳以上）が17人（前年比±0人）で70.8%を占めており高い割合となっている。

このうち庄内地域では、交通事故発生件数、死者数及び負傷者数いずれも減少し、死者数3人（前年比2人減）のうち高齢者は2人（前年比±0人）で66.7%を占めている。庄内地域の交通事故死者数は県全体の12.5%を占め、人口比（24.4%）と比較し低くなっている。

【表11】交通事故発生件数・死者数・負傷者数の推移（1/1～12/31）

（単位：件、人）

	県 全 体			庄 内 地 域		
	発生件数	死者数	負傷者数	発生件数	死者数	負傷者数
平成27年	6,446	57(35)	8,037	1,315	12(6)	1,593
平成28年	6,136	28(15)	7,670	1,234	7(5)	1,470
平成29年	5,816	38(26)	7,244	1,174	12(8)	1,448
平成30年	5,097	51(35)	6,199	1,055	16(10)	1,241
令和元年	4,292	32(22)	5,135	897	7(6)	1,066
令和2年	3,328	30(19)	3,975	739	9(6)	872
令和3年	3,184	24(16)	3,760	701	4(2)	832
令和4年	2,970	26(17)	3,469	619	9(5)	719
令和5年	2,780	34(17)	3,295	570	5(2)	660
令和6年	2,457	24(17)	2,927	493	3(2)	574

※死者数のカッコ内数字は、高齢者の内数。

資料：山形県警察本部の交通事故発生状況より作成

【表12】交通事故発生件数、死者数、負傷者数の県・庄内地域の前年比較

	発生件数（件）			死者数（人）			負傷者数（人）		
	令和6年	令和5年	前年比	令和6年	令和5年	前年比	令和6年	令和5年	前年比
県全体	2,457	2,780	88.4%	24	34	70.6%	2,927	3,295	88.8%
庄内地域	493	570	86.5%	3	5	60.0%	574	660	87.0%
庄内／県	20.1%	20.5%		12.5%	14.7%		19.6%	20.0%	

資料：山形県警察本部の交通事故発生状況より作成

(4) 県税の調定額と収入額

① 県税決算

- 庄内総合支庁における令和5年度の県税の決算は、調定額 19,845 百万円、収入額 19,628 百万円、収入率 98.9%となっている。

② 調定額

- 令和5年度における調定額の県全体に占める割合は、16.8%である。
- 主要税目別では、調定額(現年度分)順に、個人県民税 7,641 百万円、法人事業税 4,798 百万円、自動車税(種別割) 3,503 百万円、軽油引取税 2,280 百万円、法人県民税 450 百万円、不動産取得税 428 百万円、個人事業税 245 百万円、自動車税(環境性能割) 244 百万円となっている。

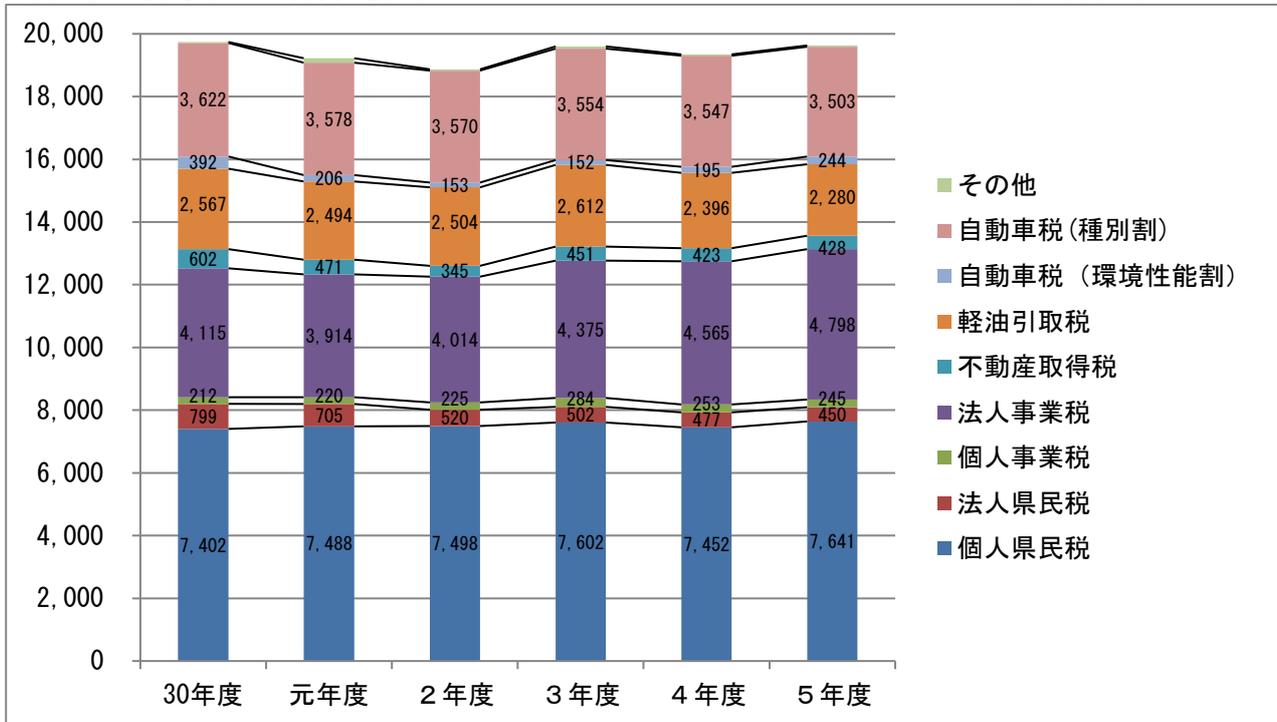
【表13】 調定額と収入額の推移

(単位：百万円、%)

		H30	R元	R2	R3	R4	R5
山形県	調定額	112,999	111,718	112,030	118,154	116,205	118,470
	収入額	111,682	110,434	110,339	117,073	115,150	117,392
	収入率	98.8	98.9	98.5	99.1	99.1	99.1
庄内	調定額	20,008	19,458	19,104	19,596	19,537	19,845
	割合	17.7	17.4	17.1	16.6	16.8	16.8
	収入額	19,751	19,204	18,872	19,379	19,311	19,628
	収入率	98.7	98.7	98.8	98.9	98.8	98.9

【図4】 主要税目の年度別調定状況

(現年度分、単位：百万円)



資料：庄内総合支庁税務課調べ